

地域福祉、地域づくり、健康づくりに関する意見交換
(千葉県)

千葉県では今年度、福祉の総合計画である「千葉県地域福祉支援計画」と健康増進計画である「健康ちば21」等の見直しを予定しています。

そこで、様々な分野の団体等の小規模の会議・集会を単位とし、特定のテーマごとではなく、地域福祉、地域づくり、健康づくりに関してのご意見をいただき、それぞれの施策・計画に反映していきたいと考えています。

つきましては、11月までの間で中央会の会員組合等で、会議が終わった後の時間をお借りし、参加者の皆様と様々な分野の団体・個人が連携・協働して取り組む地域づくり・健康づくりなどの意見交換（ミニタウンミーティング）をしたいと思っております。

ご意見をお寄せいただける組合等がありましたらご連絡下さい。

千葉県健康福祉部
健康福祉政策課

TEL 043・223・2608

健康づくり支援課

TEL 043・223・2661

地域ブランド講習・指導相談会

本誌6月号でも紹介しましたが「地域団体商標制度」が4月1日から施行されました。(社)発明協会では次のように講習・指導相談会を開催しますので、地域特産品による町・村おこしを考えている組合等はぜひご参加下さい。

▼日時 10月27日(金) 1時30分～4時30分
▼場所 千葉県自治会館(千葉市中央区市場町1の3)

▼内容 「地域団体商標制度の概要と出願手続き」
▼講師 田中国際特許商標事務所田中二郎弁理士
▼参加料 無料
▼申し込み先 (社)発明協会千葉県支部(TEL 043・290・7071)

適格退職年金制度からの移動先

適格退職年金契約をしている中小企業の事業主が、平成24年3月31日までに新たに中退共制度に入した場合に、適格退職年金契約の受益者等の持分額以内の金額を機構に引き渡すことができます。

詳細は勤労者退職金共済機構

TEL 03・3436・0151

「第12回千葉元気印企業大賞」の応募を受け付けています

千葉県の活力溢れる中小・ベンチャー企業を表彰する「千葉元気印企業大賞」(主催・フジサンケイ ビジネスアイ<日本工業新聞社>、共催・千葉興業銀行)の第12回選考対象企業を募集します。

この表彰制度は95年度に創設され、新技術や製品開発、独創的な経営・サービスに優れた企業を表彰、これまでに108社が受賞しています。今回で12回目を迎えますが、名実ともに県内の活力ある元気印企業への「登竜門」として高い評価をいただいています。

【選考対象および表彰】

- ◆千葉元気印企業大賞・千葉県知事賞(以下5賞の中から最優秀賞として1社を選定)(副賞50万円)
- ◆優秀製品・サービス賞 ◆優秀技術賞 ◆優秀経営賞 ◆ベンチャー賞 ◆地球環境貢献賞(副賞各20万円)

【応募資格と方法】

千葉県内に本社または事務所を置く全ての企業(株式上場企業は除く)。自薦および他薦による公募。応募用紙につきましては事務局まで問い合わせください。

【募集締切り】

2006年10月末日まで。

【発表】

2007年1月中旬、フジサンケイ ビジネスアイ、産経新聞、サンケイリビング新聞に掲載。

【応募先・事務局】

フジサンケイ ビジネスアイ千葉支局

〒260-0013 千葉市中央区中央4-17-3、電話 043・227・0651、Fax 043・227・0652

□表紙のメモ(海士有木駅)

小湊鐵道は大正6年に会社を設立したとき五井から安房小湊間の免許を取得したために、この社名になったそうだ。営業区間は五井(上総中野間39・1km)を1時間10分で結んでいる。

海士有木駅は昭和40年代に千葉までの延伸計画があり、その分岐点となるはずの駅であった。この計画を千葉急行電鉄が引き継ぎ、当時の京成千葉(ちはら台間が開通したが、千葉急行はその後解散し京成電鉄に引き継がれたもの、現在は凍結されている。

編集後記

from the editor

最近広報の見直しを行っている企業・団体が多いそうだ。HPやメールマガジンで済ませているところが、改めて紙媒体の重要性に目覚めている。組合等に置かれなくても、「広報誌」と現場での「実地指導」は車の両輪ですので、もう一度紙媒体の役割を考えてみて下さる。

E-mail:

funatogawa@chukai-chiba.or.jp